

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	印西市立小倉台小学校									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	3	3	3	3	4	4	1	21		
児童数	83	85	109	112(1)	121	130	1	640	31	

II 研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を育てる学習指導の在り方
～一人ひとりが学ぶ楽しさを感じる算数科指導を目指して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

*全学年・算数
・他の教科より、児童の理解状況に差がでやすい教科であるため。
・他の教科より、全体的に理解度が高い反面、教科への関心が低いため。

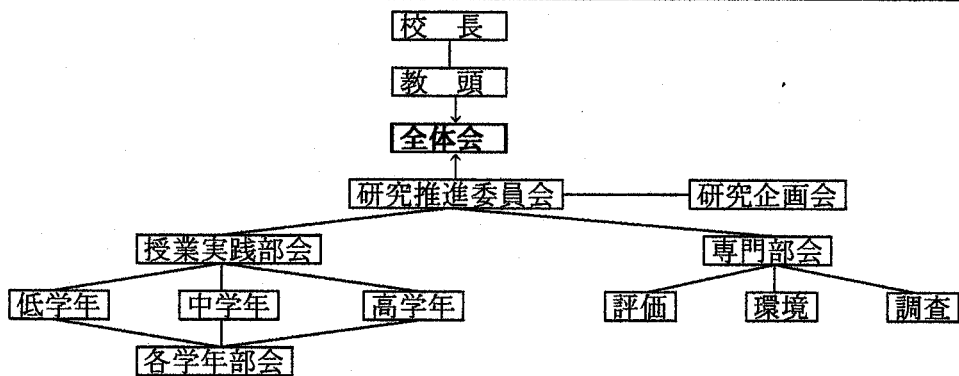
(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>○ テーマ</p> <p style="text-align: center;">確かな学力を育てる学習指導の在り方 ～一人ひとりが学ぶ楽しさを感じる算数科指導を目指して～</p> <p>○ 研究の見通し (仮説)</p> <p>【仮説1】個に応じた指導方法を工夫すれば、自ら学び自ら考える力が育つであろう。</p> <p>【仮説2】学ぶことの楽しさを味わわせれば、学ぶ意欲が高まるであろう。</p> <p>○ 研究の内容・方法</p> <p>《個に応じた指導方法の追求》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導による学習形態の工夫 本校では、学級を解体しないで、同一学級内で学習集団を編成する「T・T」や学級を解体し、2～3の少人数集団を編成する学習形態を主に活用している。 ・児童の確実な実態把握の工夫 児童の学習状況を次の支援につなげるための「チェックリスト(座席表)」の開発及び自己評価カードの工夫 ・学習内容の理解や習熟の程度に応じた指導 (補充学習・発展学習・繰り返し学習) の工夫 <p>《学ぶ楽しさを味わわせる指導方法の追求》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じた単元計画の作成 ・児童の興味・関心に応じた課題学習の工夫 ・課題開発のための学習方法の定着 ・算数的な活動の工夫 ・教材・教具の開発及び効果的活用
----------------	---

平成16年度

- テーマ
確かな学力を育てる学習指導の在り方
～一人ひとりが学ぶ楽しさを感じる算数科指導を目指して～
 - 研究の見通し(仮説)
 - 【仮説1】個に応じた指導方法を工夫すれば、自ら学び自ら考える力が育つであろう。
 - 【仮説2】算数的な活動を効果的に取り入れ、教材・教具を工夫すれば、学ぶ楽しさを味わい、意欲が高まるであろう。
 - * 【仮説2】の変更点
「学ぶ楽しさ」を味わわせるためには、何をすればできるのかを明記していなかったため、明記した。
 - 研究の内容・方法
 - 《個に応じた指導方法の更なる追求》
 - ・少人数指導による学習形態の工夫
本校では、「学級を解体しないで、同一学級内で学習集団を編成する学習形態「1C2T(T・T)」や「学級を解体し、2～3の少人数集団を編成する学習形態「1C2T(少)」の編成を多く活用する。
 - ・児童の確実な実態把握の工夫
児童の学習状況を次の支援につなげるための「チェックリスト(座席表)」の開発及び自己評価カードの工夫
 - ・学習内容の理解や習熟の程度に応じた指導(補充学習・発展学習・繰り返し学習)の工夫
 - 《学ぶ楽しさを味わわせる指導方法の更なる追求》
 - ・児童の実態に応じた単元計画の作成
 - ・児童の興味・関心に応じた課題学習の工夫
 - ・課題開発のための学習方法の定着
 - ・算数的な活動の工夫
 - ・教材・教具の開発及び効果的活用
- 《公開研究会の開催》10月29日(金)予定
- 《2年間の研究のまとめ》

(3) 研究推進体制



- 全体会…研究計画などについて共通理解し、具体的実践する母体。
- 研究推進委員会…校長・教頭・教務・研究主任・算数主任・各学年1名で組織。研究実践の円滑な運営を図る。
- 研究企画…研究主任・副主任で組織。研究推進委員会に提出する原案を作成。
- 授業実践部会…低・中・高部会、各学年部会で組織。研究計画を具体的に実践。
- 専門部会…〈評価〉指導方法・評価方法について検討。
〈環境〉学習環境作りや教材・教具について検討。
〈調査〉実態調査や成果・課題を追求していくための方法を検討。

Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 少人数指導を導入したことで、児童の反応は次の通りであった。
 - ・先生がよく指名してくれるので、たくさん発表ができる。
 - ・分からないところを気軽に質問することができる。
 - ・自分のペースで学習できる。
 - ・教室を移動することで、気分転換になる。などで、少人数指導を好意的に捉えている児童が多く、学習に対する意欲につながっていた。
- 1月の授業研究会の際質問した「算数は好きですか」に対しては、「よく分かるから、好き」が平均約83%であったが、関心・意欲面からの実態は、千葉県学力検査の結果判明する。学力についても同様。(本校は、昨年まで、4つの領域について全学年「関心・意欲」以外全て平均を上回っている。)
- 教師側からは、児童の確実な実態把握の工夫ということで、「チェックリスト(座席表)」の開発を主に行ってきたが、事前テストや前提テストの結果も網羅することで、「次の時間は何を中心に授業を行っていったらよいか」や「誰を主に支援していったらよいか」を掴むことができた。
- 《学ぶ楽しさを味わわせる指導方法の追求》ということで、「児童の興味・関心に応じた課題学習の工夫」にも力を入れてきたが、素材や課題によって、児童の意欲が向上することがわかり、今後も素材の工夫・課題の工夫に力を入れていきたい。
- 今年度は、公開をせず、校内でお互いの授業を見合う中で、指導力の向上を図っていったが、お互いに見合うことで、「何を目標していったらよいか」教師間の共通課題を確認することができた。

2. 今後の課題

- 少人数体制の成果を客観的に示していけるデータをとっていく必要がある。(4月にアンケートを行っており、3月にもう一度行うことで、その変容を捉えていく予定である。)
- 本年度少人数指導の加配の教員3名が全て講師であったため、次年度の少人数担当教員につながらないという実態をふまえ、「誰が行ってもできる」指導方法を築いていきたい。
- 本年度も児童の実態把握のためのチェックリスト(座席表)の工夫を行ってきたが、今後も十分活用できるよう、分析の方法に力を入れたい。
- 《個に応じた指導方法》で、つまづきに対する支援の他に発展的な学習への取り組みや習熟度別学習の取り組みについても積極的に行っていきたい。そのために保護者への理解を深めるための情報公開を行っていきたい。
- 《学ぶ楽しさを味わわせる指導方法の追求》ということで、課題開発・素材提示の工夫・教材教具の開発など、引き続き研究していく。
- 算数ルーム等の学習環境の整備を行っていく必要がある。
- フロンティアスクールとしての役目を果たすべく、公開授業を行い、教師の力量をお互いに高め合う場を設けていきたい。

Ⅳ 学力等把握のための学校としての取組

- 2月に行われる千葉県学力検査実施(国語・算数)
- 単元毎のワークテスト
- 単元の初めに行う事前・前提テスト

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- | |
|---|
| ○公開研究会
・開催予定日：平成16年10月29日（金）午後1：00～
場所：印西市立小倉台小学校
対象：印旛郡市小・中学校及び関係機関
内容：全学年授業公開と15・16年度の研究発表
○ホームページ作成について・・・来年度開設予定 |
|---|

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T、Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無